

認定書

国住指第34号
平成26年5月1日

住ベシート防水株式会社
代表取締役社長 志満 健 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第63条並びに同法施行令第136条の2の2第一号及び第二号（防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
DR-1806(1)
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂シート・樹脂シート・両面クラフト紙張硬質ウレタンフォーム保温板表張／金属製デッキプレート下地屋根
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

塩化ビニル系樹脂シート・樹脂シート・両面クラフト紙張硬質ウレタンフォーム保温板表張/金属製デッキプレート下地屋根

2. 形状及び寸法等

項 目	申 請 構 造
表 面 形 状	シート状
厚 さ (mm)	51.39以上(下地を除く)
傾 斜 角	0° ~30°

(別添-1)

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
防水シート	<p>塩化ビニル系樹脂シート (JIS A 6008)</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 均質シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.6_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.5_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) ・ 重ね幅：$50_{\pm 10}$ <p>(2) 複合シート</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ポリエステル繊維クロス複合シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.62_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.56_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.52_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.26_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$) ・ 重ね幅：$50_{\pm 10}$ ・ 構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] 塩化ビニル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.6_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.5_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) [2] ポリエステル繊維クロス <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$0.25 \sim 0.31$ ・ 質量：$0.02 \text{kg/m}^2 \sim 0.06 \text{kg/m}^2$ <p>2) ガラスネット複合シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.628_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.547_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) ・ 重ね幅：$50_{\pm 10}$ ・ 構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] 塩化ビニル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.6_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.5_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) [2] ガラスネット <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$0.20 \sim 0.33$ ・ 質量：$0.028 \text{kg/m}^2 \sim 0.047 \text{kg/m}^2$ <p>・ 防水シートの留付け方法：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 上打ち工法</p> <p>(2) 先打ち工法</p>

項 目	申 請 構 造
絶縁層	<p>樹脂シート：</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ガラス繊維不織布入ポリエチレン系樹脂シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.19\pm0.02以上 ・質量：79\pm4g/m²以上（有機質量9\pm1g/m²～104\pm13g/m²） ・重ね幅：50～100 ・構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] ポリエチレン系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：10\pm1μm～160\pm20μm ・質量：9\pm1g/m²～104\pm13g/m² [2] ガラス繊維不織布 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：185\pm20μm以上 ・質量：70\pm3g/m²以上 <p>(2) ガラス繊維不織布入ポリエチレン系樹脂シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.93\pm0.05以上 ・質量：159\pm6g/m²以上（有機質量9\pm1g/m²～46\pm2g/m²） ・重ね幅：50～100 ・構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] ポリエチレン系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：10\pm1μm～50\pm2μm ・質量：9\pm1g/m²～46\pm2g/m² [2] ガラス繊維不織布 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：920\pm50μm以上 ・質量：150\pm5g/m²以上 <p>(3) アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート樹脂フィルム張ガラス繊維不織布入ポリエチレン樹脂シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.21\pm0.02以上 ・質量：96\pm5g/m²以上（有機質量27\pm2g/m²～88\pm11g/m²） ・重ね幅：50～100 ・構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート樹脂フィルム <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：12\pm1μm以上 ・質量：17\pm1g/m²以上 [2] ポリエチレン系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：10\pm1μm～135\pm20μm ・質量：9\pm1g/m²～71\pm10g/m² [3] ガラス繊維不織布 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：185\pm20μm以上 ・質量：70\pm3g/m²以上 <p>(4) ガラス繊維クロス入ポリエチレン系樹脂シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.09\pm0.02以上 ・質量：79\pm4g/m²以上（有機質量9\pm1g/m²～100\pm10g/m²） ・重ね幅：50～100 ・構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] ポリエチレン系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：10\pm1μm～100\pm10μm ・質量：9\pm1g/m²～100\pm10g/m² [2] ガラス繊維クロス <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：80\pm20μm以上 ・質量：70\pm3g/m²以上

項 目	申 請 構 造
断熱材	<p>両面クラフト紙張硬質ウレタンフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ※：50.0\pm2.0～150.0\pm6.0 ・ 質量：2.076\pm0.189kg/m²～6.408\pm0.566kg/m² ・ 構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] 表面材：1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) アルミニウムはくクラフト紙 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：0.22\pm0.02 ・ 質量：200\pm20.0g/m² ・ 構成 (g/m²)： <ul style="list-style-type: none"> { アルミニウムはく……………19\pm2 { ポリエチレン系樹脂フィルム…61\pm6 { クラフト紙……………120\pm12 2) クラフト紙 ([3]裏面材がクラフト紙の場合に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：0.2\pm0.02 ・ 質量：170\pm20.0g/m² ・ 構成 (g/m²)： <ul style="list-style-type: none"> { ポリエチレン系樹脂フィルム…50\pm10 { クラフト紙……………120\pm12 [2] 芯材：硬質ウレタンフォーム保温板 (JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム保温板 2種2号) <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：24.6\pm1.0～49.6\pm2.0 ・ 密度：①～③のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①厚さ24.6～29.6：38.0\pm3 kg/m³ ②厚さ29.7～39.6：36.0\pm3 kg/m³ ③厚さ39.7～49.6：35.0\pm3 kg/m³ ・ 酸素指数：20.8以上 ・ 組成 (質量%)： <ul style="list-style-type: none"> { イソシアネート……………62\pm6 { ホリオール……………28\pm4 { りん酸ポリエステル系薬剤…6\pm1 { 添加剤 (シリコン系) ……4\pm1 { 発泡剤 (シロパン) ……6\pm1 (外割) [3] 裏面材：1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) アルミニウムはくクラフト紙 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：0.22\pm0.02 ・ 質量：200\pm20.0g/m² ・ 構成 (g/m²)： <ul style="list-style-type: none"> { アルミニウムはく……………19\pm2 { ポリエチレン系樹脂フィルム…61\pm6 { クラフト紙……………120\pm12 2) クラフト紙 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：0.2\pm0.02 ・ 質量：170\pm20.0g/m² ・ 構成 (g/m²)： <ul style="list-style-type: none"> { ポリエチレン系樹脂フィルム…50\pm10 { クラフト紙……………120\pm12 <p>※厚さが50mmを超えるときは [1]～[3] の構成の断熱材を重ねる</p>

項 目	申 請 構 造
下 地	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 金属製デッキプレート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板厚さ：0.5 ～1.8 ・溝高さ：30 ～300 ・溝間隔：107 ～700 ・断面係数：1.35cm³/m 以上 ・材質：I～VIのうち、いずれか一仕様とする <p>(2) 金属製フラットデッキプレート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板厚さ：0.8 ～1.8 ・高さ：30 ～300 ・材質：I～VIのうち、いずれか一仕様とする <p>I 鋼板 (JIS G 3011、JIS G 3131、JIS G 3141、JIS G 3136 JIS G 3302、JIS G 3314、JIS G 3317、JIS G 3321 JIS G 3125、JIS G 4305、JIS G 3352)</p> <p>II 溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板</p> <p>III 溶融亜鉛-11%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板</p> <p>IV 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8697)</p> <p>V ポリ塩化ビニル樹脂フィルム張/金属板 (国土交通大臣認定：NE-9005、 NE-9006、NE-9007、NE-9008、NE-9009、NE-9010、NE-9011、NE-9012 NE-9013、NE-9014) (金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板は除く)</p> <p>VI 塗装ステンレス鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8317、NM-8318、 NM-8319、NM-8320、NM-8321、NM-8322、NM-8324、NM-8325、NM-8326)</p>

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
補強材 (上張用)	<p>塩化ビニル系樹脂シート (JIS A 6008) : 上打ち工法の場合に限る (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 均質シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.6_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.5_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) ・ 直径：$\phi 165_{\pm 17} \sim \phi 200_{\pm 20}$ <p>(2) 複合シート</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ポリエステル繊維クロス複合シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.62_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.56_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.52_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.26_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) ・ 直径：$\phi 165_{\pm 17} \sim \phi 200_{\pm 20}$ ・ 構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] 塩化ビニル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.6_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.5_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) [2] ポリエステル繊維クロス <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：0.25～0.31 ・ 質量：$0.02 \text{kg/m}^2 \sim 0.06 \text{kg/m}^2$ <p>2) ガラスネット複合シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.628_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.547_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) ・ 直径：$\phi 165_{\pm 17} \sim \phi 200_{\pm 20}$ ・ 構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] 塩化ビニル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.6_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.5_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) [2] ガラスネット <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：0.20～0.33 ・ 質量：$0.028 \text{kg/m}^2 \sim 0.047 \text{kg/m}^2$ <p>(3) なし：先打ち工法の場合に限る</p>

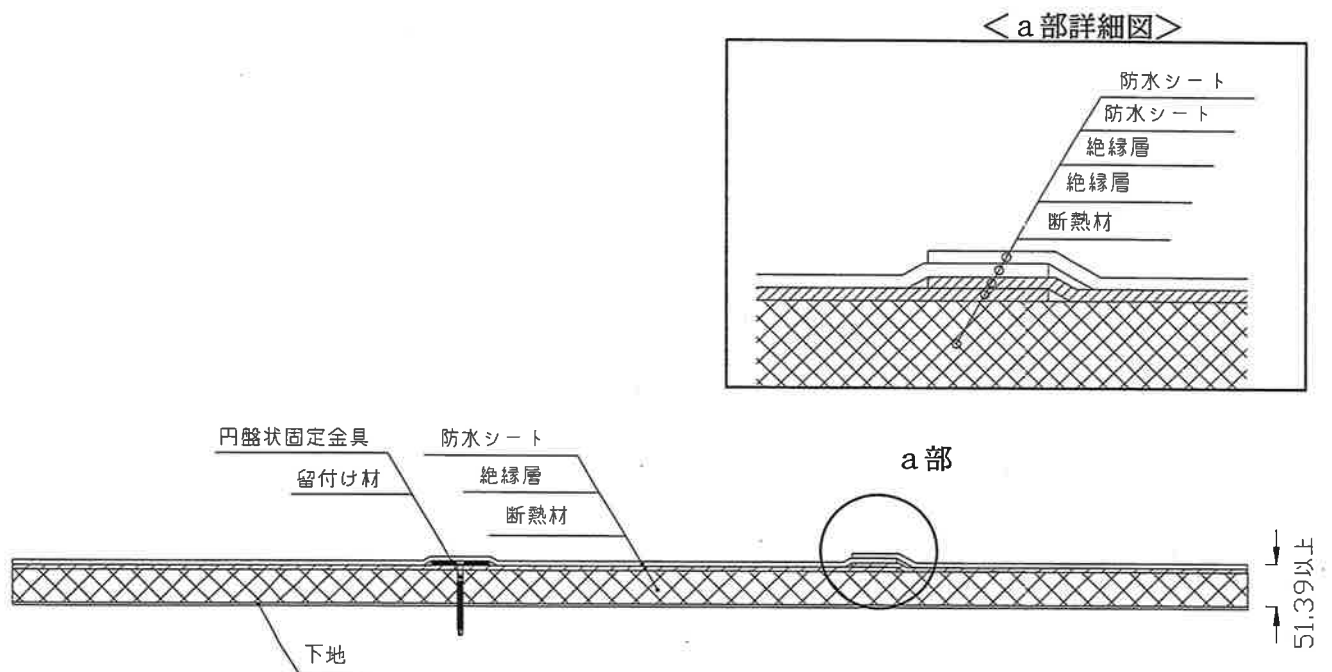
項 目	申 請 構 造
補強材 (下張用)	<p>塩化ビニル系樹脂シート (JIS A 6008) : 上打ち工法の場合に限る (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 均質シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.6_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.5_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) ・ 直径：$\phi 80_{\pm 8} \sim \phi 115_{\pm 12}$ ・ 中心穴：$\phi 14_{\pm 1.5}$ <p>(2) 複合シート</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ポリエステル繊維クロス複合シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.62_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.56_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.52_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.26_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) ・ 直径：$\phi 80_{\pm 8} \sim \phi 115_{\pm 12}$ ・ 中心穴：$\phi 14_{\pm 1.5}$ ・ 構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] 塩化ビニル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.6_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.5_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) [2] ポリエステル繊維クロス <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：0.25～0.31 ・ 質量：$0.02 \text{kg/m}^2 \sim 0.06 \text{kg/m}^2$ <p>2) ガラスネット複合シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.628_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.547_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) ・ 直径：$\phi 80_{\pm 8} \sim \phi 115_{\pm 12}$ ・ 中心穴：$\phi 14_{\pm 1.5}$ ・ 構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] 塩化ビニル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$1.3_{\pm 0.2} \sim 2.0_{\pm 0.3}$ ・ 質量：$1.6_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.5_{\pm 0.4} \text{kg/m}^2$ (有機質量：$1.5_{\pm 0.2} \text{kg/m}^2 \sim 2.2_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$) [2] ガラスネット <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：0.20～0.33 ・ 質量：$0.028 \text{kg/m}^2 \sim 0.047 \text{kg/m}^2$ <p>(3) なし</p>

項 目	申 請 構 造
留付け材	<p>[1] 固定金具留付け用</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ピス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ① 鋼製 ② ステンレス製 ・寸法：φ7.0以上×L75以上 <p>2) リベット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ① 鋼製 ② ステンレス製 ・寸法：φ7.0以上×L75以上
円盤状固定金具	<p>(1), (2)のうち、いずれか一仕様又は併用とする</p> <p>(1) 塩化ビニル樹脂被覆鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直径：65_{±5}～100_{±5} ・厚さ：0.7_{±0.2}～1.7_{±0.3} ・留付け間隔：2000_{±50}以下 <p>(2) 合成樹脂系接着剤塗布鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直径：65_{±5}～100 ・厚さ：0.7_{±0.2}～1.7_{±0.3} ・留付け間隔：2000_{±50}以下

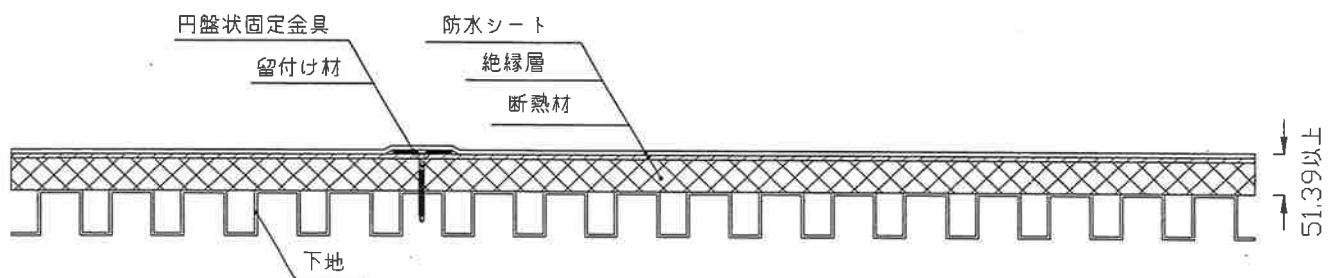
4. 構造説明図

(1) デッキプレート下地（絶縁層（シート系）：先打ち工法）

(寸法単位：mm)



【A-A' 断面図(別添-13参照)】



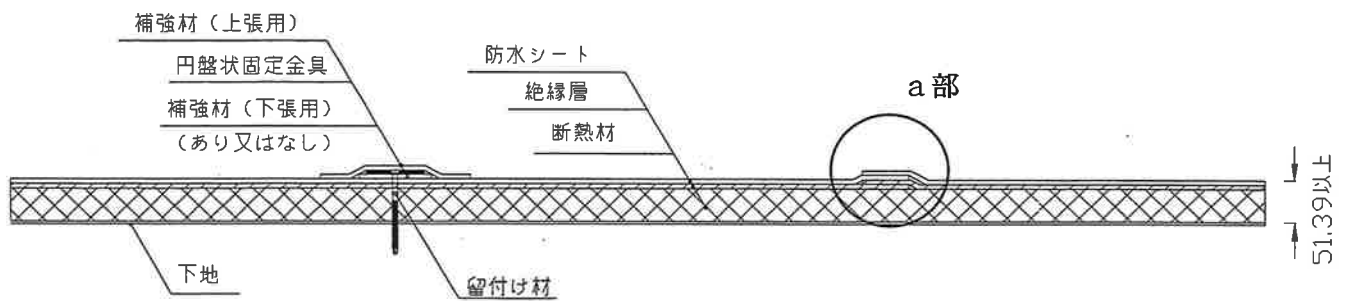
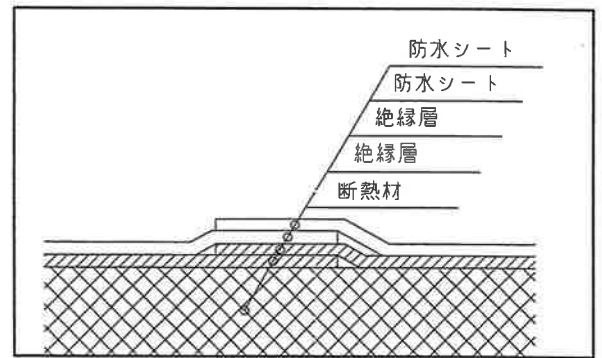
【B-B' 断面図(別添-13参照)】

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

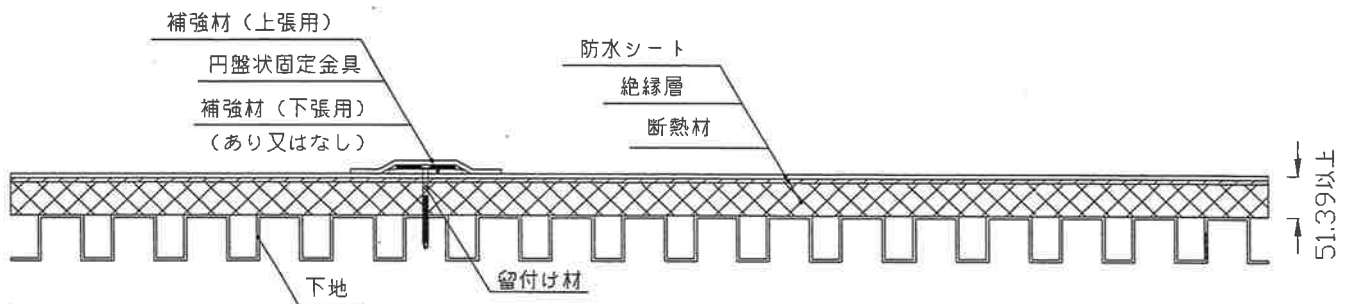
(2) デッキプレート下地 (絶縁層 (シート系) : 上打ち工法)

(寸法単位 : mm)

< a 部詳細図 >



【A-A' 断面図 (別添-14参照)】

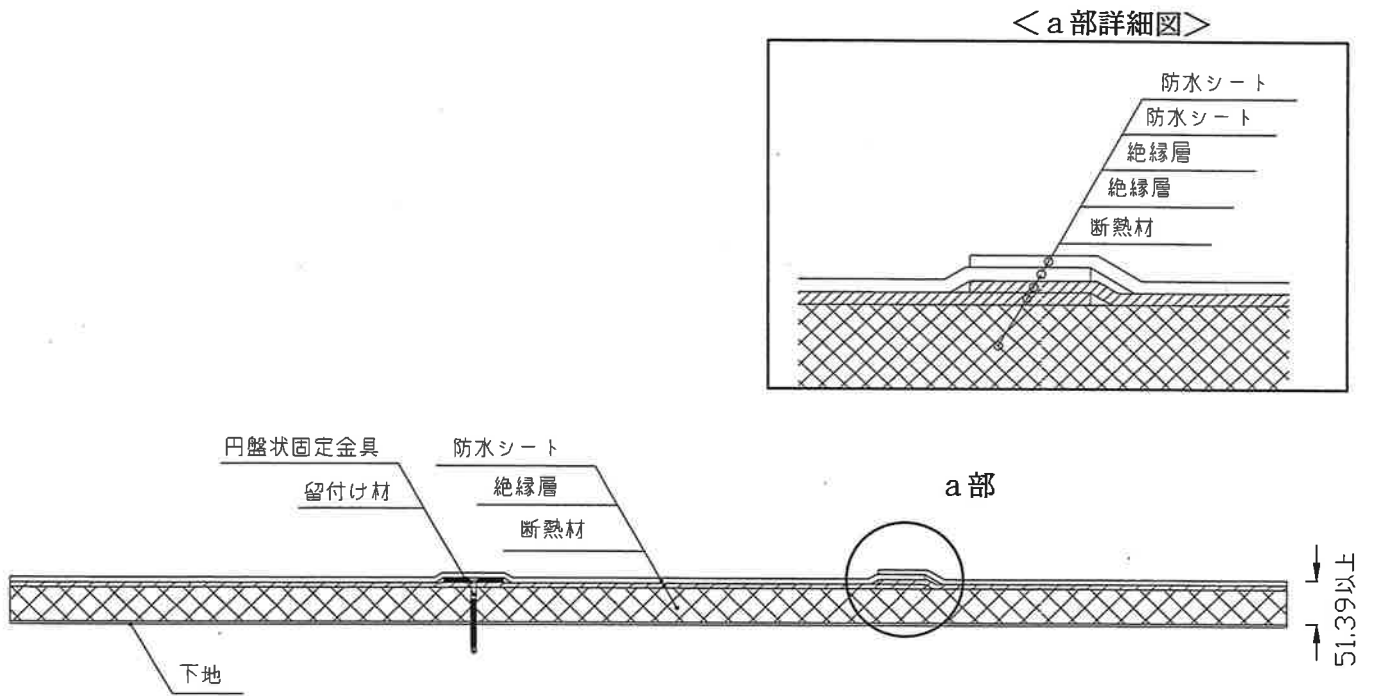


【B-B' 断面図 (別添-14参照)】

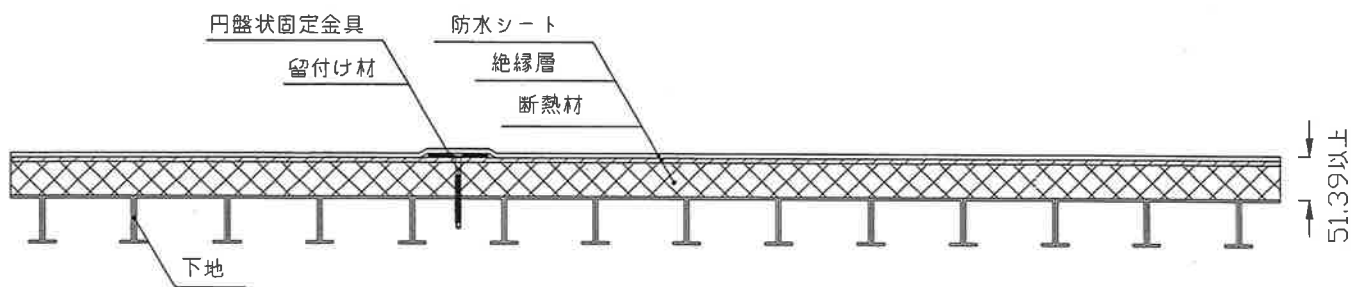
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(3) フラットデッキ下地 (絶縁層(シート系) : 先打ち工法)

(寸法単位 : mm)



【A-A' 断面図 (別添-15参照)】

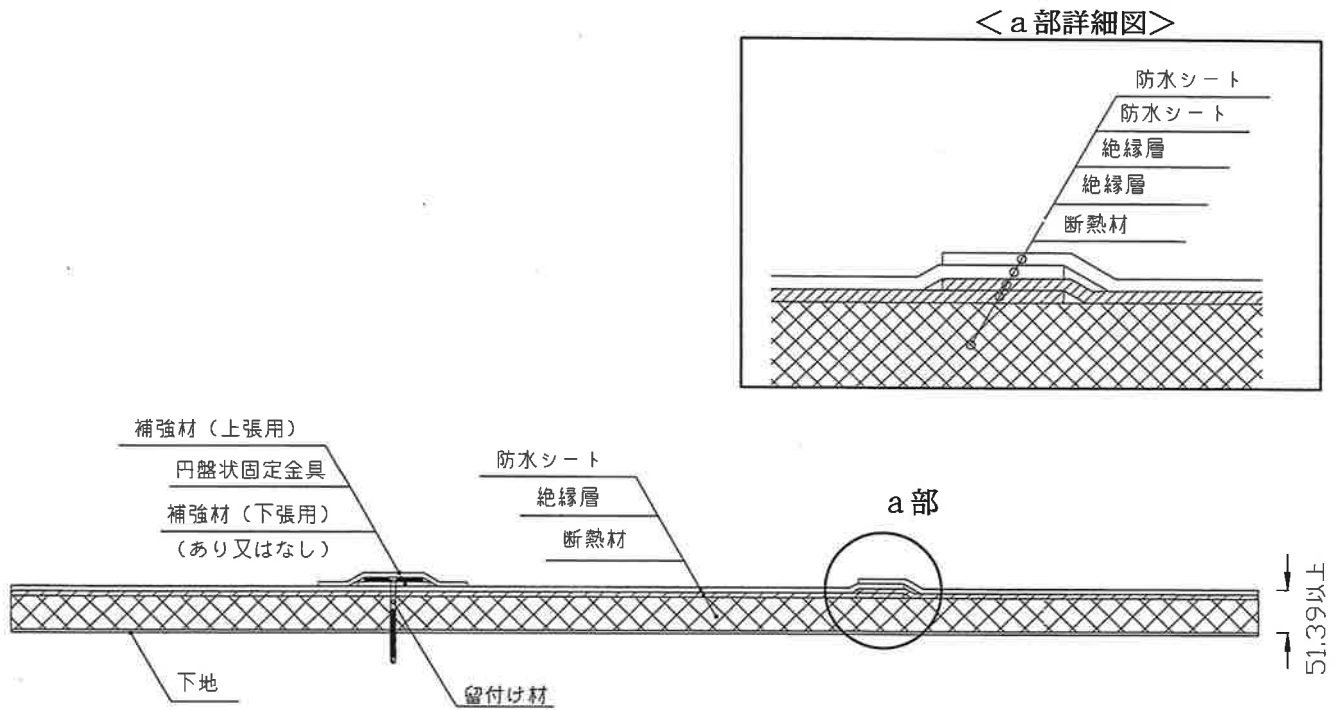


【B-B' 断面図 (別添-15参照)】

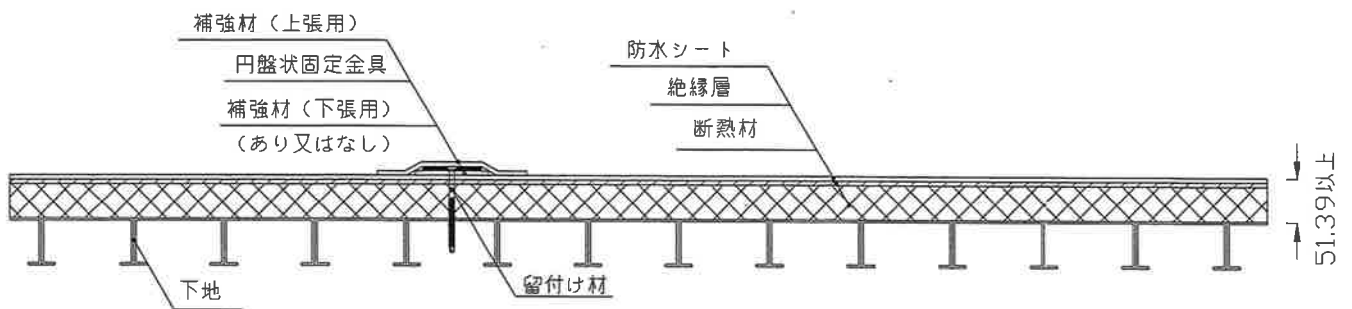
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(4) フラットデッキ下地 (絶縁層(シート系) : 上打ち工法)

(寸法単位 : mm)



【A-A' 断面図 (別添-16参照)】



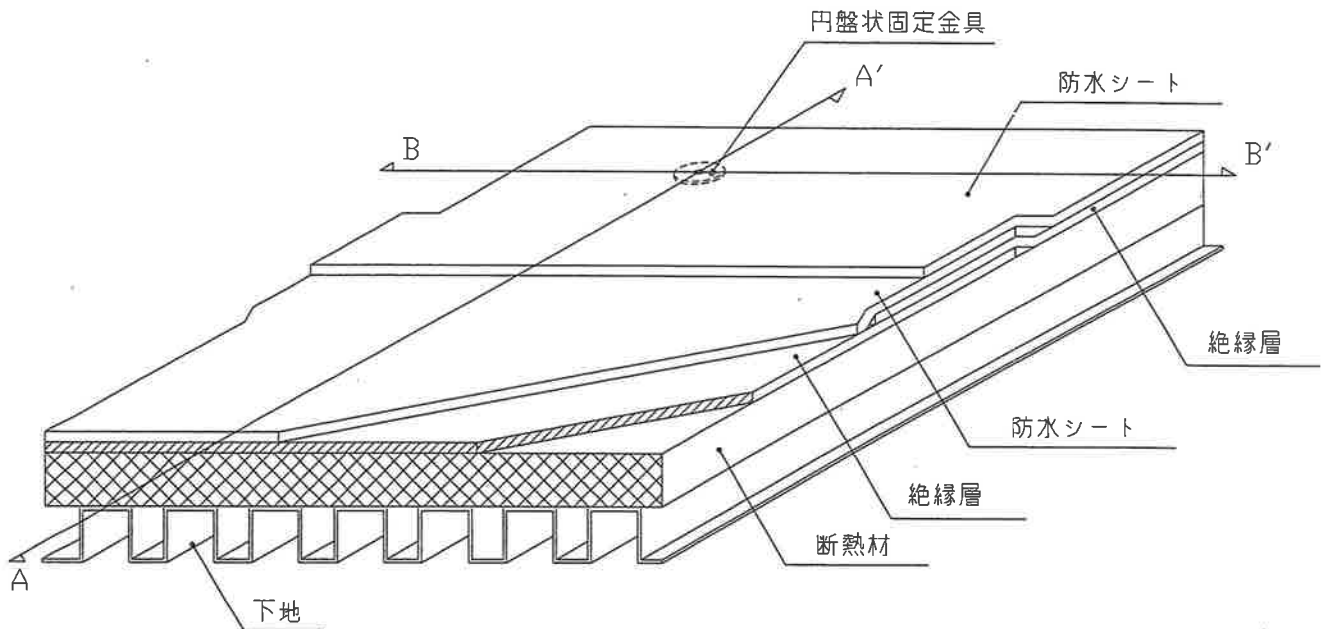
【B-B' 断面図 (別添-16参照)】

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

<施工図>

(1) デッキプレート下地の場合（絶縁層（シート系）：先打ち工法）



<施工手順>

1) 下地・野地板

所定の間隔で施工した下地の上に断熱材を突き付けて敷設する。
目地部に処理は特に行わない。

2) 絶縁層の敷設と養生

絶縁層は断熱材の上に所定の重ね幅で敷設する。

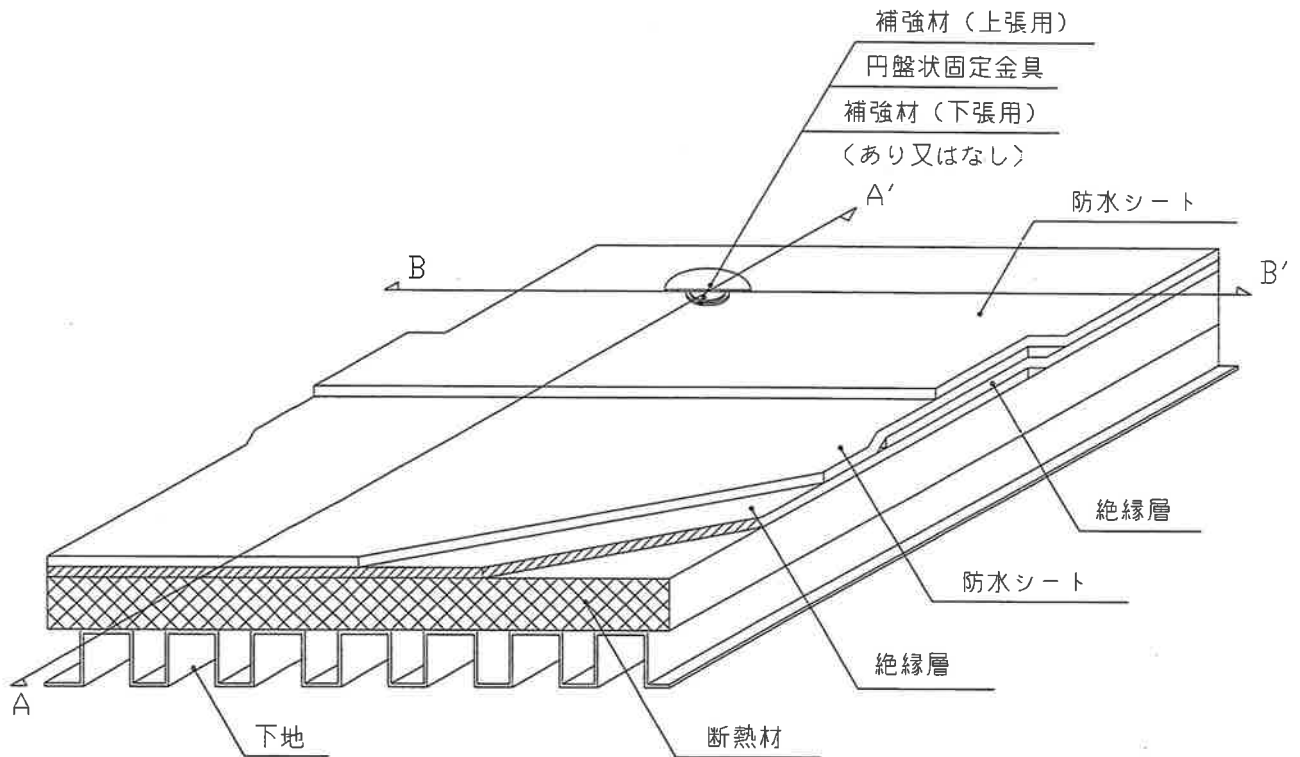
3) 円盤状固定金具の取付け

絶縁層の上から、所定の間隔で円盤状固定金具をビスで固定する。

4) 防水シートの溶着

所定の溶着巾で防水シートを円盤状固定金具に融着する。

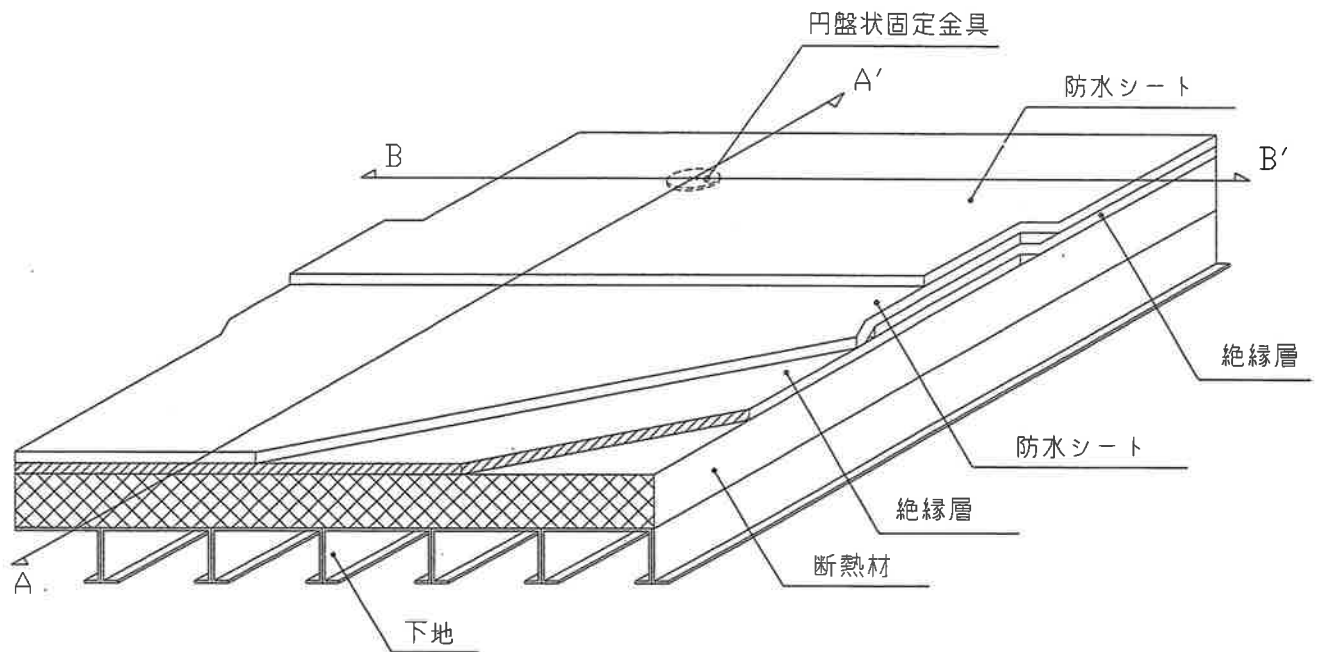
(2) デッキプレート下地の場合（絶縁層（シート系）：上打ち工法）



<施工手順>

- 1) 下地・野地板
所定の間隔で施工した下地の上に断熱材を突き付けで敷設する。
目地部に処理は特に行わない。
- 2) 絶縁層の敷設と養生
絶縁層は断熱材の上に所定の重ね幅で敷設する。
- 3) 防水シートの敷設
絶縁層の上に所定の溶着巾で防水シートを敷設する。
- 4) 補強材（下張用）の敷設
使用する場合は補強材（下張用）を防水シート上に敷設する。
この時溶着は行わない。
- 5) 円盤状固定金具の取付け
補強材（下張用）の上から、所定の間隔で円盤状固定金具をビスで固定する。
- 6) 補強材（上張用）の溶着
円盤状固定金具とその下に敷設されている補強材（下張用）と防水シートに補強材（上張用）を溶着する。

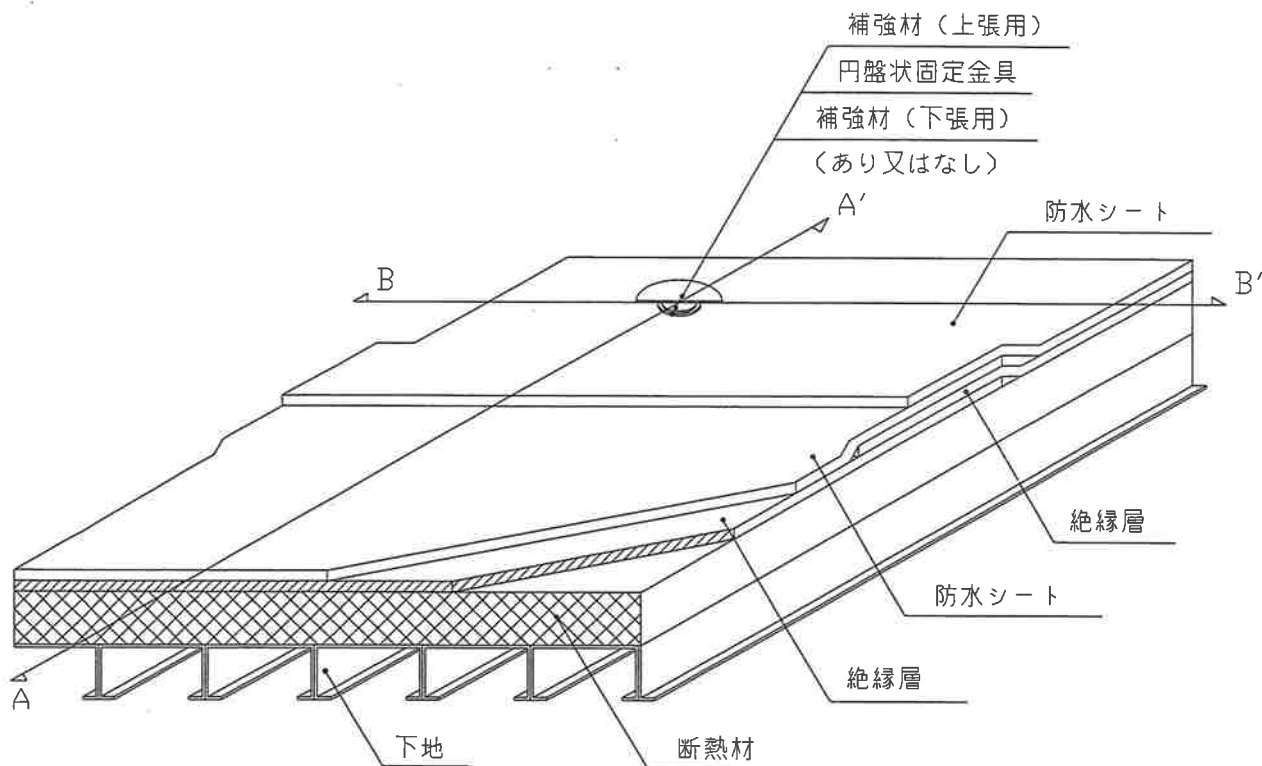
(3) フラットデッキ下地の場合（絶縁層（シート系）：先打ち工法）



<施工手順>

- 1) 下地・野地板
所定の間隔で施工した下地の上に断熱材を突き付けで敷設する。
目地部に処理は特に行わない。
- 2) 絶縁層の敷設と養生
絶縁層は断熱材の上に所定の重ね幅で敷設する。
- 3) 円盤状固定金具の取付け
絶縁層の上から、所定の間隔で円盤状固定金具をビスで固定する。
- 4) 防水シートの溶着
所定の溶着巾で防水シートを円盤状固定金具に融着する。

(4) フラットデッキ下地の場合（絶縁層（シート系）：上打ち工法）



<施工手順>

- 1) 下地・野地板
所定の間隔で施工した下地の上に断熱材を突き付けて敷設する。
目地部に処理は特に行わない。
- 2) 絶縁層の敷設と養生
絶縁層は断熱材の上に所定の重ね幅で敷設する。
- 3) 防水シートの敷設
絶縁層の上に所定の溶着巾で防水シートを敷設する。
- 4) 補強材（下張用）の敷設
使用する場合は補強材（下張用）を防水シート上に敷設する。
この時溶着は行わない。
- 5) 円盤状固定金具の取付け
補強材（下張用）の上から、所定の間隔で円盤状固定金具をビスで固定する。
- 6) 補強材（上張用）の溶着
円盤状固定金具とその下に敷設されている補強材（下張用）と防水シートに補強材（上張用）を溶着する。